

令和 2 年度 三好市立学校評価報告書

学校名(三好市立下名小学校)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
①学校経営及び学校運営に関する評価	3.6	・教育目標の達成に向け、小規模校の強みを生かし、組織的、協働的な教育実践が概ねできた。	・今後も地域とのつながりを持続し、活力ある学校づくりに取り組んでほしい。	・学校評価アンケートの結果から、本年度の取組を精査し、より信頼の得られる学校運営に取り組む。
②教育目標及び教育計画に関する評価	3.4	・感染症の影響による教育計画の見直しを行い、創意を生かした教育課程、教育活動の実施に取り組んだ。	・コロナ禍の一年であったが、教育課程が予定どおり実施されていることに安堵した。今後も教職員が力を合わせ児童の育成に努めてほしい。	・計画的な教育計画の実施に向け、学校行事の精選を行うとともに、児童の主体的な学びを促す授業改善に努める。
③主要な教育活動に関する評価	3.4	・基礎基本の徹底に努めるとともに、読書や体力アップの充実に全校体制で取り組んだ。児童アンケートや教職員の情報共有により、児童理解に努めた。	・地域の特色を生かした取組が、メディアで紹介され、生き生きと活動している様子が見られた。人との交流が難しいときであるが、今後も工夫して取り組んでほしい。	・一人一台端末を活用した授業づくりに取り組み、学力の定着、思考力、表現力のアップを図る。家庭との連携を図り、家庭学習の充実に努める。
④保護者及び地域との連携等に関する評価	3	・信頼され親しまれる学校づくりを推進するため、理解・支援を得られるよう情報発信を心がけた。家庭学習の充実に向けて今年度の取組を見直し、次年度の取組に反映させたい。	・今年度は、地域交流の活動ができない状況であったが、これからも地域、保護者とのつながりを大切に教育活動を推進してほしい。	・日常の細やかな対話を大切にし、信頼関係を築く。学校運営協議会の円滑かつ有効な運営に努めたい。
⑤その他、上記以外に関する評価(安全・特別支援・業務改善)	3.6	・安心安全な環境づくりに教職員が協働して取り組んだ。巡回相談等を活用し、児童の着実な学びにつなげた。残業時間の削減に教職員で取り組んだ。	・児童が元気に学校生活が過ごせ、安心した。教職員の業務が負担とならないように留意してほしい。	・校務分掌の計画的・組織的な遂行を図り、児童の学びの過程を大切にした指導支援体制づくりに努める。

(1) 評価基準については、次の通りとする。

評価基準 4=達成度が 90～100 %
 3=達成度が 70～ 90 %
 2=達成度が 50～ 70 %
 1=達成度が 50% 未満

- (2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の1～5の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。
- (3) 総括評価の「評価分野」及び分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。
- (4) 分野別評価の「自己評価結果の概要」欄については、特に評価が 4 及び 1 について記入する。
- (5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会において評価された結果をまとめたものを記入する。
- (6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。